

平成29年 山梨県観光入込客統計 調査結果

調査方法 ~観光庁が定めた「観光入込客統計に関する共通基準」に基づく調査(平成22年4月より導入)

観光入込客数調査・・・399地点

- ・ 自然(山岳、湖等)、文化歴史(神社、美術館、ワイナリー等)、温泉、スポーツレクリエーション(公園、遊園地等)、都市型観光(農産物直売所等)、その他(道の駅等)、行祭事・イベントなど、県内の観光地や観光施設に対して、来客の利用状況を調査

アンケート調査・・・3,060サンプル

- ・ 対面聞き取り方式
- ・ 四季毎に、年4回×県内10箇所で開催
- ・ 主な質問項目：性別、年齢、居住地、旅行目的、消費動向、利用交通機関、満足度 等

宿泊客数調査・・・1,342施設

- ・ 観光庁が実施する宿泊旅行統計調査の結果を使用。

結果概要

山梨県観光入込客(実人数)は3,216万2千人であり、前年比 +0.4%

- ・ 日帰り客(実人数)は2,396万5千人であり、前年比 +4.1%
- ・ 宿泊客(実人数)は819万7千人であり、前年比 9.2%
- ・ 県外客(実人数)は2,475万9千人であり、前年比 0.1%
- ・ 県内客(実人数)は740万3千人であり、前年比 +2.0%
- ・ 県外客(実人数)には外国人を含む。

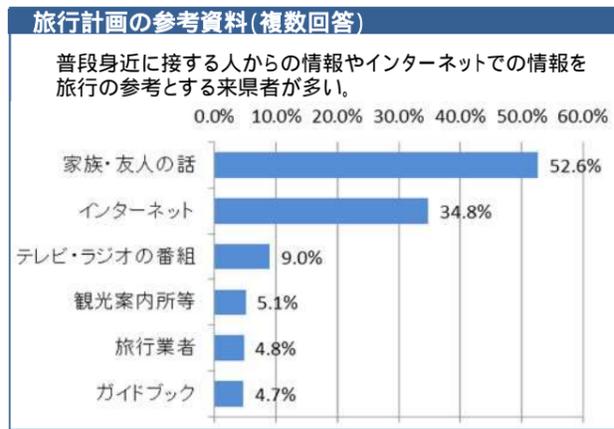
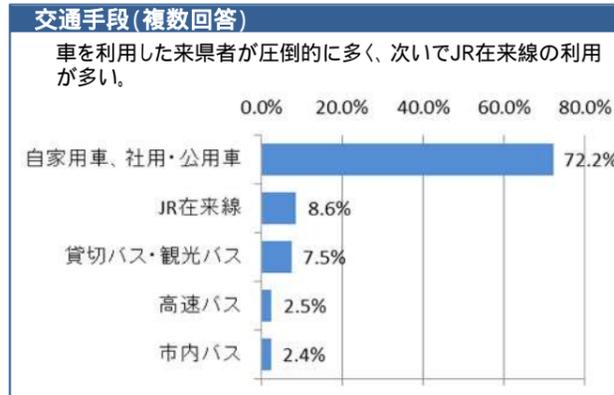
観光消費額は、県全体で4,133億円であり、前年比 0.6%

1人当たりの平均観光消費額は、12,851円であり、前年比 0.9%

<参考>

外国人延べ宿泊者数(速報値)は153万3千人であり、前年比 +11.8% 出典:観光庁宿泊旅行統計調査

~県外観光客のアンケート調査結果~



圏域別の比較(実人数)

富士・東部圏域の割合が48.2%と半数に近い。富士・東部では、東日本大震災のあった平成23年から増加を続けている。

- ・ 峡中は465万0千人であり、前年比 2.1%
- ・ 峡東は541万5千人であり、前年比 1.8%
- ・ 峡南は221万9千人であり、前年比 1.6%
- ・ 峡北は436万2千人であり、前年比 1.9%
- ・ 富士・東部は1,551万7千人であり、前年比 +2.9%

圏域名	平成29年		平成28年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
峡中	4,650,030	14.5%	4,751,587	14.8%	97.9%
峡東	5,414,558	16.8%	5,511,598	17.2%	98.2%
峡南	2,218,685	6.9%	2,255,750	7.0%	98.4%
峡北	4,361,599	13.6%	4,445,926	13.9%	98.1%
富士・東部	15,516,967	48.2%	15,080,931	47.1%	102.9%
年計	32,161,839	100.0%	32,045,792	100.0%	100.4%

月別の比較(実人数、3カ年比較)

- ・ 平成28年と比較して0.4%の増加、平成27年と比較して2.2%の増加となった。
- ・ 1年のうちで8月が419万人(構成比13.0%)と最も多く、2月が156万人(構成比4.9%)と最も少ない。
- ・ 伸び率が最も高かったのは5月であり、前年比16.3%の増加。一方、伸び率が最も低かったのは3月の前年比17.9%の減少である。

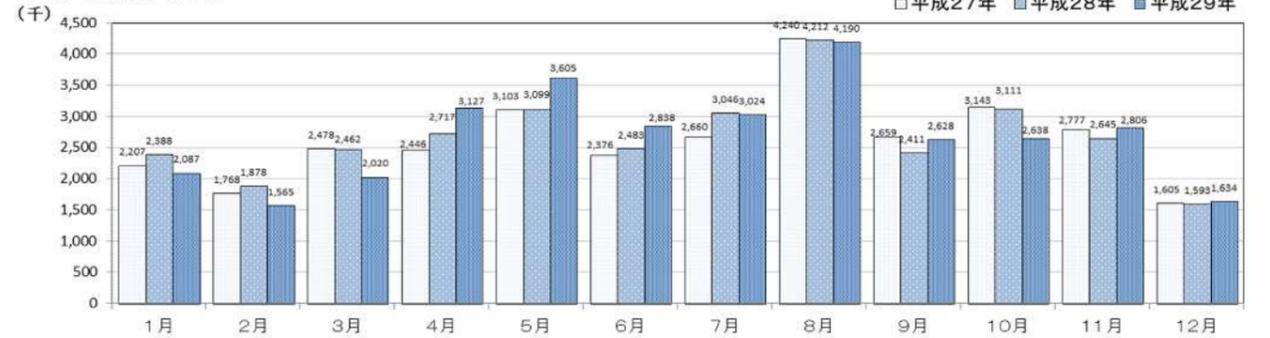
【3カ年比較表】

項目	平成27年	平成28年	平成29年	対前年比	対前々年比
1月	2,207,364	2,387,755	2,087,294	87.4%	94.6%
2月	1,768,209	1,877,838	1,564,686	83.3%	88.5%
3月	2,477,696	2,462,220	2,020,445	82.1%	81.5%
4月	2,446,162	2,717,335	3,126,517	115.1%	127.8%
5月	3,103,067	3,098,962	3,605,328	116.3%	116.2%
6月	2,375,648	2,483,039	2,837,961	114.3%	119.5%
7月	2,659,799	3,045,898	3,024,083	99.3%	113.7%
8月	4,239,667	4,212,093	4,189,697	99.5%	98.8%
9月	2,658,736	2,411,115	2,628,120	109.0%	98.8%
10月	3,142,961	3,111,447	2,637,840	84.8%	83.9%
11月	2,777,415	2,644,720	2,805,704	106.1%	101.0%
12月	1,605,251	1,593,370	1,634,164	102.6%	101.8%
年計	31,461,975	32,045,792	32,161,839	100.4%	102.2%

【月別構成比】



【3カ年比較グラフ】



月別の傾向

- 1月~2月 前年は「おもてなしやまなし!ふるさと旅行券」の利用期間であったためその反動により減少となった。また、2月は前年がうるう年であったこと、建国記念日が土曜日であり、振替休日になかったことも減少要因である。
- 3月 全体として日照時間は前年を上回ったが、月後半の春休み期間中に天候が悪かったこと、桜の開花が遅れたこと、ガソリン価格が前年に比べ2割以上高かったことによる減少が見られた。
- 4~6月 各地の桜祭りやゴールデンウィーク、空梅雨の影響で客足が伸びた。特にゴールデンウィークは前年に比べ日並びが良く、天候に恵まれたため大幅に増加した。
- 7~8月 台風接近などの影響で平年に比べ雨の日が多く、イベント等の順延などにより来場者が減ったことにより観光入込客数は減少した。
- 9月 好天によるレクリエーション施設での来場者数の増加が全体を押し上げた。
- 10月 相次ぐ台風の接近や秋雨前線の影響により降雨日が多かった。イベントの中止もあった。
- 11~12月 紅葉シーズンに好天が続いたこと、その後も冬型の気圧配置により晴れの日が多くなったことが観光客の増加に繋がった。